

令和4年度 事業報告書

社会福祉法人 淑徳福社会

特別養護老人ホーム淑徳共生苑
淑徳共生苑短期入所生活介護事業所
淑徳共生苑通所介護事業所
淑徳共生苑認知証対応型通所介護事業所
淑徳共生苑居宅介護支援事業所
淑徳おゆみ診療所
千葉市あんしんケアセンター松ヶ丘

目 次

1.	総括	1
2.	役員会開催報告	2
3.	職員配置・入退職状況	3
4.	施設内・外研修参加報告	4
5.	実習・施設見学実施報告	6
6.	年間行事及び地域交流報告	7
7.	各事業別報告	
	7-1. 特別養護老人ホーム	8
	7-2. 短期入所生活介護事業所	14
	7-3. 通所介護事業所・認知症対応型通所介護事業所	15
	7-4. 居宅介護支援事業所	16
	7-5. 淑徳おゆみ診療所	17
	7-6. 千葉県あんしんケアセンター松ヶ丘	18
	7-7. 千葉県生活支援コーディネーター	20

1. 総括

令和4年度事業計画基本方針は、昨年に引き続き①経営組織のガバナンスの強化、②事業運営の透明性の確保、③職員の待遇改善と人材育成及び安定確保、④淑徳大学との連携強化、⑤地域・社会貢献活動への取組みとし、共生八ヶ条を大事にして進めてきた。

コロナ渦の中、特養部門において迅速な入居や空床期間を減らし、稼働率を上げることが常に意識した活動を目指して取り組んだが、目標達成に至らず、減益が続いている。同様に短期入所部門を含め、通所部門も外出企画等を増やし、利用者獲得増を試みてはいるが依然として稼働率上昇にはほど遠い状況であり、ともに前年度からさらに収益減となってしまうている。居宅部門、診療所部門、あんしん部門においては、計画通りに進んだが法人全体では、3年連続の赤字決算となっており、さらなる改善策が必要である。

厳しい経営状況下であるが、職員の待遇悪化回避に努め、勤労意欲の低下を防止した。人材の適材適所を考え、人事異動も実施して効率的な職場環境の構築を図った。働き方改革を常に意識し、時代に即応してBCPのために国や千葉市の補助金をもとにLPガス非常用発電設備を設置できた。また、JK A補助金の活用による特殊浴槽も設置した。ご入居者様や職員を含め、安心安全に生活できる（働ける）場の確保をさらに継続したい。

淑徳大学の関連施設として社会福祉学科、看護学部を中心に年間を通して実習生を受け入れた。内容の充実や実習精度を上げることを継続課題として捉えている。市原特別支援学校つるまい風の丘分校生徒による窓清掃ボランティアや現場実習、千葉盲学校理療科生によるあんまマッサージ施術体験会を実施し、職員や入居者、利用者様に障害者への理解啓発にも努めた。また、千葉家庭裁判所の補導委託訓練も引き続き実施し、大学とのコラボレーションも相まって他にはない訓練と評価をいただいている。高等学校との連携も千葉県高等学校介護技術コンテスト千葉県大会（関東大会予選会）をおゆみホールで開催するなど続いている。あわせて介護福祉士を目指す高校生のための法人独自の奨学金制度も創設したところである。千葉県立障害者高等技術専門校の障害者委託訓練も引き続き受託しており、社会貢献活動については今後とも充実させて行きたいと願っている。

新型コロナの影響をもろに浴びながら3年が経過しようとしている。常時我慢を強いてきたことに申し訳なさやジレンマを感じざるを得ない。しかしながら新型コロナを経営状況の悪化を招いたことへの言い訳材料にすることはできない。収益改善計画が現実と乖離し、予想以上に甘いものであったと言わざるを得ない。全てにおいて大切なことは安定した収益状況を生み出すことであり、そこを外してしまえば特別養護老人ホームの運営は成り立たない。覚悟を持って改善に邁進していかなければならない。

2. 役員会開催報告

理事会開催報告

回	期日	理事	監事	報告事項及び議案
第1回	6月7日	6名	2名	第1号議案 令和3年度事業報告、決算報告について 第2号議案 定時評議員会の招集について 第3号議案 業務執行理事選任について 第4号議案 福祉空間補助金 非常用ガス発電システム導入について 第5号議案 JKA 補助金 特殊浴槽導入について 第1号報告 業務執行状況について 第2号報告 事業執行状況について 第3号報告 淑徳共生苑・淑徳おゆみ診療所の現況について
第2回	9月22日	6名	1名	第1号議案 令和4年度第一次補正予算(案)について 第1号報告 業務執行状況について 第2号報告 会計執行状況について 第3号報告 事業執行状況について 第4号報告 淑徳共生苑・おゆみ診療所の現況について
第3回	12月7日	5名	1名	第1号議案 令和4年度第二次補正予算(案)について 第1号報告 業務執行状況について 第2号報告 会計執行状況について 第3号報告 事業執行状況について 第4号報告 淑徳共生苑・おゆみ診療所の現況について
第4回	3月7日	6名	1名	第1号議案 令和4年度第三次補正予算(案)について 第2号議案 令和4年度事業計画(案)について 第3号議案 令和4年度当初予算(案)について 第4号議案 育児休業・介護休業に関する規則について 第5号議案 永年勤続表彰(案)について 第1号報告 業務執行状況について 第2号報告 事業執行状況について 第3号報告 淑徳共生苑・おゆみ診療所の現況について

評議員会開催報告

回	期日	評議員	監事	報告事項及び議案
定時	6月22日	5名	1名	第1号議案 令和3年度事業報告、決算報告について 第1号報告 淑徳共生苑・淑徳おゆみ診療所の現況について 第2号報告 補助金事業について

3. 職員配置・入退職状況

(令和5年4月1日現在)

特養・定員90名／短期入所・定員10名

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
施設長(兼務)	1	1	-
生活相談員	2	3	-
看護師(兼務)	3	5	1
介護職員	34	52	11
管理栄養士	1	1	-
介護支援専門員	1	1	-
医師	1	1	-
機能訓練指導員	1	1	-
事務長	-	1	-
事務員	-	3	1
宿直員	-	4	4
計	44	73	15

通所・定員20名／認知症対応型通所介護・定員6名

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
管理者(兼務)	2	(2)	-
生活相談員	2	2	-
看護師	1	3	2
介護職員(兼務)	4	10(2)	7
運転手	-	3	3
計	9	18	8

居宅介護支援事業所

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
管理者(兼務)	1	(1)	-
主任介護支援専門員	-	1	-
介護支援専門員	1	2	-
計	2	3	0

診療所

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
医師	1	2	1
看護師	-	2	2
事務員	-	2	1
放射線技師	-	1	1
薬剤師	-	2	2
計	1	9	7

あんしんケアセンター松ヶ丘

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
管理者(兼務)	1	(1)	-
保健師・看護師	3	2	-
主任介護支援専門員	3	3	-
社会福祉士	3	4	-
事務員	2	2	1
生活支援コーディネーター	1	1	-
介護支援専門員	-	1	-
計	13	13	1

職員入退職状況(令和4年度中)

職種	入職	有期⇔無期、 正規雇用	退職
正規雇用職員	8	0	9
無期契約職員	0	0	0
有期契約職員	5	0	3
計	19	0	12

4. 施設内・施設外研修参加報告

内部研修

月	日付、内容、人数		
4月	22日	基礎介護技術研修「記録」「移乗」	4名
5月	13日	基礎介護技術研修「排泄」	6名
	20日	基礎介護技術研修「食事」「入浴」	4名
6月	10日	権利擁護虐待防止・身体拘束廃止研修	8名
	24日	基礎介護技術研修「口腔ケア」	10名
8月	13日	食中毒について	6名
9月	30日	看取りケアについて	8名
10月	14日	感染症対策 手洗いと手指消毒について	15名
	21日	喀痰吸引について	3名
	27日	事故防止対策 車いすの取扱注意点	6名
11月	10日	レクリエーションについて	6名
	18日	認知症ケア BPSD から考える	16名
1月	20日	虐待防止・身体拘束廃止研修	66名
2月	17日	事故防止対策 KYT について	14名
3月	16日	プライバシー保護について	64名
※資料は全て職員全体に周知			延べ 236名

外部研修

月	日付、内容、参加人数		
5月	6日	社会福祉法人会計実務セミナー	1名
	12日	千葉県介護支援専門員更新研修課程Ⅰ（～8月5日）	1名
	20日	在宅医療コーディネーター研修（～10月21日）	1名
6月	14日	認知症地域推進員全大会兼研修会	1名
	16日	施設長及び事務担当者研修会	2名
	28日	高齢者権利擁護・身体拘束廃止研修（講師）（～8月23日）	1名
7月	1日	社会福祉法人会計セミナー初級編	1名
	5日	認知症地域支援推進員全大会兼研修会	2名
	9日	介護福祉士実習指導者講習会（～8月14日）	1名
	14日	千葉市の看看連携を考える会ケース検討会	3名
	22日	ヤングケアラー関係機関職員研修	1名
	25日	高齢者権利擁護・身体拘束廃止研修（26日）	1名
29日	社会福祉士受験対策講座	3名	

8月	2日	千葉県認知症対応型サービス事業所管理者研修	1名
	3日	千葉県主任介護支援専門員更新研修（～10月7日）	1名
	5日	介護予防従事者研修	1名
	5日	地域包括支援センター職員基礎研修	1名
	19日	千葉県キャラバンメイトスキルアップ研修	3名
	21日	実践力向上！高齢者のお口と機能の口腔ケア	2名
	26日	社会福祉法人会計セミナー基本編	1名
	28日	大巖寺研修	2名
9月	10日	介護フォーラム 真の介護を伝えたい	1名
	16日	心と身体が喜ぶ健康講座	2名
	30日	ケースを通してのスーパービジョン（講師）	1名
10月	4日	千葉県ユニットリーダー研修（～6日）	1名
	11日	雇用管理責任者研修	1名
	15日	重層的支援における介護支援専門員の役割	2名
	25日	千葉県ユニットリーダー研修（～27日）	1名
11月	15日	介護ロボット等活用ミーティング（～18日）	3名
	20日	介護福祉士実習指導講習会	1名
	28日	高齢者権利擁護・身体拘束廃止研修（～12月12日）	1名
12月	2日	ふくし未来塾（第二期）	1名
	16日	社会福祉法人会計実務セミナー	1名
	17日	よりよいケアマネジメントに向けて 人が人を支援すること	2名
	21日	キャリアパス・同一労働同一賃金	1名
	21日	千葉県キャラバンメイト養成研修	1名
	27日	千葉県介護支援専門員実務研修実習指導者研修	1名
1月	7日	社会福祉士実習指導者講習会（～21日）	2名
	16日	千葉県介護支援専門員研修専門研修課程Ⅱ（～3月17日）	1名
	26日	全国老人福祉施設大会・研究会議	3名
2月	7日	千葉県認知症施策推進セミナー	1名
	7日	千葉県災害福祉市支援チームリーダー等養成研修	1名
	18日	私はここで暮らしたい ケアマネが目指す支援の在り方	1名
	19日	ふくし未来塾（第二期）（～21日）	1名
	22日	介護予防担当者研修	3名
	25日	災害対策研修 避難所・在宅避難	1名
3月	9日	千葉県チームオレンジ活動報告会	2名
	9日	認知症地域支援推進全体会兼研修会	2名
			延べ70名

5. 実習・見学実施報告

月	日程	学校・学部名等	内容	人数
4月	23日～5月7日	淑徳大学総合福祉学部	相談援助実習（基礎実習） 前年度振替者	1名
5月	10日～13日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習	4名
	16日～19日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習	5名
6月	20日～24日	淑徳大学総合福祉学部	心理実践演習	9名
	27日～7月1日	淑徳大学総合福祉学部	心理実践演習	9名
	6日～13日	千葉介護福祉カレッジ	企業実習	1名
7月	7日	淑徳大学大学院	実践心理学科見学実習	7名
	4日～6日	淑徳大学短期大学部	介護実習	1名
	25日～8月12日	淑徳大学総合福祉学部	相談援助（施設現場）実習（3年生）	3名
8月	17日～9月6日	淑徳大学総合福祉学部	相談援助（施設現場）実習（3年生）	3名
	15日～19日	淑徳大学総合福祉学部	相談援助（あんしん）実習（3年生）	2名
	1日～29日	淑徳大学短期大学部	介護実習	2名
9月	26日～30日	淑徳大学看護栄養学部	管理栄養士給食臨地実習	1名
	27日～10月6日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習	10名
	28日～30日	淑徳大学短期大学部	介護実習	1名
10月	5～7日	淑徳大学短期大学部	介護実習	1名
	3日～11月5日	淑徳大学総合福祉学部	相談援助実習（導入実習）8グループ	148名
11月	7日～10日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習	9名
12月	6日～15日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習	12名
	1日～16日	淑徳大学総合福祉学部	心理実践演習	5名
1月	10日～19日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習	18名
	12日	淑徳大学総合福祉学部	心理実践演習	1名
	19日～3月20日	淑徳大学総合福祉学部	相談援助実習（導入実習）8グループ	147名
				計 400名

6. 年間行事及び地域交流報告

月	日付	場所	行事	内容
4月	23日	月影堂	降誕会	お釈迦様の誕生を祝う宗教行事
5月	26日	苑内	消防訓練	定期の消防訓練等
6月	14日	苑内	避難訓練	定期の避難訓練等
	19日	〃	家族会役員会	会計監査・今後の活動について
7月	7日	ホール	千葉県高等学校福祉部会	福祉部会会合及び見学
	～7日	苑内	七夕	竹を用意し、苑内に短冊を設置
	22日	月影堂	盂蘭盆会	宗教行事
	24日	ホール	高等学校介護技術コンテスト千葉県大会	介護技術コンテスト会場
8月	17.18日	苑内	補導委託訓練	千葉家庭裁判所への協力
9月	11日	ホール	家族会総会	総会実施
	16日	苑内	敬老会	敬老のお祝い
10月	30日	ホール	家族会役員会	今後の活動について
11月	9.16日	苑内	生涯大学校見学	施設見学
	10日	〃	インドネシア視察団	〃
	18日	〃	ミネソタ大視察	〃
	25日	デイ	避難訓練	定期の避難訓練等
12月	8日	苑内	千葉家庭裁判所調査官見学	補導委託訓練に向けて
	14日	月影堂	成道会	お釈迦様のお悟りを祝う宗教行事
	15日	苑内	ハローワーク千葉南見学	障害者雇用及び見学
	16日	〃	つるまい風の丘分校清掃活動	苑内窓ガラス清掃ボランティア
1月	20.27日	苑内	つるまい風の丘分校清掃活動	苑内窓ガラス清掃ボランティア
2月	3日	地域	大巖寺節分	地域の節分行事
	8・9日	苑内	補導委託訓練	千葉家庭裁判所への協力
	15日	月影堂	涅槃会	宗教行事
3月	1日	苑内	千葉盲学校施術体験会	希望利用者・職員への施術体験
	2日	〃	中国湖南省視察団	施設見学
	8.9.23日	〃	補導委託訓練	千葉家庭裁判所への協力
	27日～	地域	お花見（大巖寺）	外出行事

※ 令和2年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響によってこれまで実施してきていた活動及びボランティアなどは中止にさせていただきました。

7. 各事業別報告

7-1. 特別養護老人ホーム

年間稼働率

月	延べ人数					合計	稼働率
	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5		
4月	0	30	522	994	841	2,387	88.4%
5月	0	31	571	1,045	837	2,484	89.0%
6月	0	30	586	992	800	2,408	89.2%
7月	0	31	620	1,010	822	2,483	89.0%
8月	0	31	642	1,030	847	2,550	91.4%
9月	0	30	605	1,011	818	2,464	91.3%
10月	0	31	633	1,053	789	2,506	89.8%
11月	0	23	619	1,036	750	2,428	89.9%
12月	0	0	621	1,082	775	2,478	88.8%
1月	0	0	651	1,064	824	2,539	91.0%
2月	0	0	608	987	805	2,400	95.2%
3月	0	0	725	1,068	833	2,626	94.1%
計	0	237	7,403	12,372	9,741	29,753	90.6%

性別・要介護度別入居者数 (数値は月末時点)

月	介護度 1		介護度 2		介護度 3		介護度 4		介護度 5		合計	平均 介護度
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
4月	0	0	0	1	3	14	4	29	4	23	78	4.10
5月	0	0	0	1	5	14	5	29	4	23	81	4.07
6月	0	0	0	1	5	15	5	28	4	23	81	4.06
7月	0	0	0	1	5	15	5	30	4	22	82	4.05
8月	0	0	0	1	6	15	3	31	5	23	84	4.06
9月	0	0	0	1	5	15	4	30	6	21	82	4.06
10月	0	0	0	1	4	17	4	30	5	20	81	4.02
11月	0	0	0	0	4	16	4	32	5	20	81	4.06
12月	0	0	0	0	5	16	4	33	5	20	83	4.05
1月	0	0	0	0	5	16	5	31	8	21	86	4.09
2月	0	0	0	0	5	17	5	31	8	19	85	4.06
3月	0	0	0	0	5	19	5	32	8	18	87	4.02
計	0	0	0	7	57	189	53	366	66	253	991	4.06

年齢・性別構成 (3月末時点)

-	男性	女性	計
60～69歳	1	0	1
70～79歳	6	4	10
80～89歳	7	30	37
90～99歳	3	33	36
100歳～	1	2	3
計	18	69	87
平均年齢	83.1歳	90.3歳	88.9歳

入所状況

No	日付	性別	年齢	入所前の居所
1	R4. 4. 25	男性	73	居宅
2	R4. 5. 10	男性	74	医療機関
3	R4. 5. 16	男性	82	居宅
4	R4. 5. 17	女性	104	医療機関
5	R4. 6. 7	女性	97	居宅
6	R4. 6. 15	女性	90	老健
7	R4. 7. 5	女性	88	老健
8	R4. 7. 25	女性	89	その他施設
9	R4. 8. 10	男性	85	医療機関
10	R4. 8. 16	女性	87	その他施設
11	R4. 8. 24	女性	98	医療機関
12	R4. 9. 6	男性	92	居宅
13	R4. 9. 26	男性	87	老健
14	R4. 10. 12	女性	96	その他施設
15	R4. 10. 13	女性	90	居宅
16	R4. 10. 19	女性	84	居宅
17	R4. 11. 7	女性	95	老健
18	R4. 11. 9	女性	90	その他施設
19	R4. 12. 13	男性	62	医療機関
20	R4. 12. 22	女性	86	医療機関
21	R4. 12. 26	女性	93	医療機関
22	R5. 1. 17	男性	72	老健
23	R5. 1. 19	女性	92	居宅
24	R5. 1. 19	男性	75	老健
25	R5. 1. 24	男性	81	居宅
26	R5. 1. 31	男性	89	居宅
27	R5. 2. 9	女性	89	老健
28	R5. 2. 20	女性	88	その他施設
29	R5. 3. 20	女性	83	居宅
30	R5. 3. 22	女性	89	その他施設
31	R5. 3. 28	女性	88	老健

退所状況

No	日付	性別	年齢	退所事由
1	R4. 4. 12	女性	101	死亡(看取り)
2	R4. 4. 15	男性	93	死亡(看取り)
3	R4. 4. 16	女性	95	死亡(看取り)
4	R4. 4. 18	女性	90	死亡(看取り)
5	R4. 4. 21	女性	92	死亡(看取り)
6	R4. 5. 21	女性	97	死亡(施設)
7	R4. 6. 2	女性	98	死亡(看取り)
8	R4. 6. 16	女性	88	死亡(看取り)
9	R4. 6. 17	男性	85	死亡(医療機関)
10	R4. 7. 30	女性	93	死亡(看取り)
11	R4. 8. 8	男性	91	死亡(医療機関)
12	R4. 9. 9	女性	93	死亡(施設)
13	R4. 9. 13	男性	84	長期入院
14	R4. 9. 22	女性	95	死亡(施設)
15	R4. 9. 27	女性	94	死亡(看取り)
16	R4. 10. 15	女性	93	死亡(看取り)
17	R4. 10. 22	女性	92	死亡(医療機関)
18	R4. 10. 22	男性	96	死亡(医療機関)
19	R4. 10. 25	男性	96	死亡(看取り)
20	R4. 11. 19	女性	93	死亡(看取り)
21	R4. 11. 23	女性	101	死亡(看取り)
22	R4. 12. 12	女性	85	死亡(医療機関)
23	R5. 1. 1	女性	87	死亡(看取り)
24	R5. 2. 24	女性	102	死亡(施設)
25	R5. 2. 25	女性	93	死亡(看取り)
26	R5. 2. 26	女性	79	死亡(看取り)
27	R5. 3. 27	女性	97	死亡(看取り)

在苑期間

期間	男性	女性	計
～5年未満	17	50	67
5年以上～10年未満	0	17	17
10年以上～14年未満	0	0	0
15年以上～	1	2	3
計	18	69	87
平均在苑期間（年）	2.2	3.4	3.1

月例別入院状況

-	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
人数	0	0	2	3	2	4	5	1	1	2	1	1	22	1.8
日数	0	0	24	61	15	37	48	30	49	34	28	31	357	29.8

利用料負担階層

-	人数	2割負担	3割負担
1段階	0	-	-
2段階	8	-	-
3段階①	10	-	-
3段階②	21	-	-
4段階	48	3	4
計	87	3	4

地域状況

-	保険者	計
県内	千葉市中央区	62
	千葉市若葉区	2
	千葉市緑区	10
	千葉市美浜区	3
	市原市	6
	市川市	1
	習志野市	1
	筑西市	1
県外	兵庫県	1
計		87

施設相談員報告

令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症流行により、入退所・入退院・面会レクリエーション・研修など、様々な制約がある中での運営となった。

- ・ 申込者の見学相談を積極的に受け入れ、入所前調査等により入居者の生活習慣の把握、家族の思いを把握し、診療所・ユニット・他職種との連携を図り、入居者の個別的な生活が維持できるよう努め、尊重したケアを提供するよう努めた。
 - ・ 他職種連携の強化のため、ユニット会議・カンファレンス（担当者会議）だけでなく、看護会議や淑徳おゆみ診療所医師との会議を実施し、入居者の体調管理やケア向上に努めた。
 - ・ 各委員会は、昨年度と同様の体制を図り、協議できる委員会となるよう努めた。
- 虐待防止委員会：チェックリストを全職員に活用し、データとして提示し、課題・実施・評価を行い不適切なケアへの取り組みを実施できた。
- 身体拘束廃止委員会：身体拘束廃止の取り組みの結果、令和4年12月より身体拘束者ゼロとなることができていた。

それ以外の委員会でも、協議しながら今までにない取り組みの実施ができたが、コロナ禍の影響より定期開催できないことから、内容が場当たりのものになったこともみられた。来年度は、各委員会でしっかりと年間計画を提示し実施できるようにする。

- ・ コロナ禍の中で入居者の生活の質を維持するため、ユニットの中で実施できるレクリエーションの工夫・毎月の法話会（宗教行事）・他職種による定期的な体操レクなど、活動の機会を増やし、喜んでもらえるよう支援した。また、父の日や敬老会など、規模の縮小はあるも感染対策を行った上で、コロナ禍前に近いレクリエーションの提供をした。ボランティアの受け入れは、前年度に続き中止とした。
- ・ 苑内外研修会や勉強会を通し、専門的知識や技術のレベルアップとして介護職者としての資質向上に努め、研修会はロールプレイやグループワークを積極的に取り入れた。
- ・ 実習生の受け入れ体制については実習内容も改めて、社会福祉士実習・看護実習・介護福祉士実習など苑内での実施を行うことができた。感染対策を徹底した中で、デイサービスやユニットでの現場実習も実施することができた。
- ・ 前年度より入所をスムーズにするため入所判定委員の連携を強化したことにより、最大1カ月で5名の新規入所と運営できる体制となったが、平均すると入所：月2.5人、退所：月2.41人と退所者も多く結果的に目に見える稼働の向上にはいたっていない。原因の一つとして、今年度看取り対象者となったのが15名と重度化している状況が挙

げられる。来年度は、入所申込者を増やすことにも力を入れ、安定した稼働ができるようにしていく。

- ・ 今年度は新型コロナウイルスの職員の発生が多発した。感染対策を徹底することで、クラスターの発生はなかったが、苑内発生により罹患した入居者が退所となってしまうケースも発生してしまった。

来年度は、安定した各事業の稼働の安定と、コロナ禍で影響を受けてしまった生活環境面や接遇面に関して改善に努めていく。

施設看護報告

- ・ 施設医療において、健康に生活できるレベルを保つ事、疾患に対して少しでも苦痛を取り除く事を最優先に考え常勤医師との連携に努めた。
- ・ 健康診断において、健康状態の把握、異常の早期発見に努める事ができている。
- ・ 施設看護体制の中で、医師の指示のもと看護師が出来る範囲の医療を、昨年同様提供できている。
- ・ 熱等の受診においては、内服中心の治療・疾患の程度により肺炎の診断がなされた場合診療所にて点滴治療が可能であり、内服と点滴治療でほとんどの方が回復されており、他への感染もなく至っている（入院者数も減少している）。
- ・ 他職種との情報連携を円滑に行い、必要とされる医療・看護を提供する事が出来た。（食事・排泄・睡眠・看取り等）
- ・ 口腔予防衛生の取り組みとして訪問歯科との情報を共有している。
- ・ 感染症（インフルエンザ・新型コロナ等）については予防接種を行っている。医師の指示のもと必要に応じて医療の提供を行い、感染を最小限に抑える事が出来ている。

淑徳おゆみ診療所受診状況

受診内容	延べ人数
整形（打撲・骨折）骨粗鬆症関係	31
肺疾患関係・熱など	40
泌尿器・バルン関係	25
糖尿・消化器・栄養関係	70
循環器関係	1
頭痛・脳疾患関係	9
処置・皮膚疾患・その他	375
計	551

訪問歯科受診状況

月	診療回数	延べ人数
4月	9	67
5月	8	62
6月	8	75
7月	7	73
8月	9	71
9月	8	65
10月	8	79
11月	9	115
12月	8	69
1月	7	68
2月	7	65
3月	5	48
計	93	857

他医療機関受診状況

診療科	延べ人数
内科	13
神経内科・精神科	19
眼科	6
癌関係	1
皮膚科	20
ペースメーカー管理	1
耳鼻科	12
整形外科	25
胃瘻	5
泌尿器科	4
脳外科・外科	3
循環器	4
口腔外科	5
計	5

- ・喀痰吸引（主に口） 5名
- ・経管栄養 5名
- ・ペースメーカー 1名
- ・バルーン 1名

7-2. 短期入所者生活介護事業所（ショートステイ）

令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症流行により、入退所やコロナ発生時による営業休止など制約がある中での運営となった。ご利用者によっては新型コロナウイルス感染への心配により利用を中止しする方もいたが、流行が落ち着くと利用再開する方も多くいた。制約のある中でも感染症対策を徹底することで、在宅ケアマネージャーや多職種との連携を強化し、利用者様やご家族が安心して利用できるように努めた。

集団的なレクリエーションは、ユニット内での実施になるが工夫し行い、また個々に活動できるパズル・折り紙・体操など日々余暇活動を充実できるように努めた。

今年度は、7月以降から3回ほど新型コロナウイルス感染がユニット内で発生した。やむを得ず営業休止となり、下半期は特養入所の利用者も多く、稼働の低下となってしまった。

来年度は、感染症予防対策を実施していく中で、個々のペースでゆったりと過ごせる長所を活かしつつ、余暇活動の充実に力を入れて様々な利用者のニーズに対応し、安定した運営ができるように取り組んでいきたい。

年間稼働率

月	延べ人数								稼働率
	要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計	
4月	0	0	15	39	118	59	25	256	85.3%
5月	0	0	11	44	95	57	27	234	75.5%
6月	0	0	19	59	90	57	26	251	83.7%
7月	0	3	17	35	77	89	33	254	81.9%
8月	0	0	20	27	82	58	28	215	69.4%
9月	0	3	8	23	95	67	25	221	73.7%
10月	0	0	16	23	91	68	19	217	70.0%
11月	0	0	29	23	104	62	18	236	78.7%
12月	0	0	16	15	58	108	6	203	65.5%
1月	0	0	22	13	74	70	32	211	68.1%
2月	0	0	16	24	59	43	21	163	58.2%
3月	0	0	18	30	49	53	35	185	59.7%
計	0	6	207	355	992	791	295	2,646	72.4%

7-3. 通所介護・認知症対応型通所介護事業所（デイサービス）

令和4年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症の流行により、様々な制約を受けながらの事業運営となった。

その中で、畑や花壇での農作業を通して花や作物に触れて頂く事や可能な範囲内で催し物を実施し季節を感じて頂いたり、淑徳大グラウンドで運動会を実施したり、買い物レクに出掛けるなど今までにないサービスも提供できることが出来た。

感染防止の観点においても、換気・消毒など一昨年から続けている対策を継続して実施した。前年度の反省を活かし、空調面では工夫をしながら対応出来た。

複数の事業所をご利用されている方が他事業所で新型コロナウイルス感染症に罹患されるケースや職員が同居家族から感染してしまうケースは何件かあったものの、当事業所内では感染拡大することなく、サービス提供を継続できたことは大変良かったと思う。

コロナ禍でサービスの利用控えが世間的にも多くあり、在宅系のサービスの利用開始時には重度化が進み、すぐに施設入所に至ってしまうケースや以前からご利用されていた方の施設や利用サービスの変更が多く見られた。今年度は営業活動を更に活性化させ、新規利用者の獲得や利用回数増に繋げていく。

一般型デイサービス年間稼働率

月	延べ人数						稼働率
	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計	
4月	197	81	59	18	0	355	68.2%
5月	172	88	56	14	0	330	63.4%
6月	184	83	60	12	0	339	65.1%
7月	174	83	50	12	0	319	61.3%
8月	182	94	48	14	0	338	62.5%
9月	167	103	57	13	0	340	65.3%
10月	180	112	50	7	0	349	67.1%
11月	194	126	45	16	0	381	73.2%
12月	173	115	38	15	0	341	71.0%
1月	187	114	38	15	0	354	73.7%
2月	180	136	94	16	0	357	74.4%
3月	145	153	43	43	0	384	71.1%
計	2,135	1,288	638	195	0	4,256	69.1%

※区分変更中の方もいる為、合計数に不一致あり

認知症対応型デイサービス年間稼働率

月	延べ人数						稼働率
	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計	
4月	0	10	44	15	6	75	48.0%
5月	0	14	48	13	0	75	48.0%
6月	0	13	50	8	6	77	49.3%
7月	0	12	52	2	2	68	43.5%
8月	0	13	46	0	3	62	38.2%
9月	0	12	52	0	3	67	42.9%

10月	0	10	51	0	5	66	42.3%
11月	2	11	49	0	4	66	42.3%
12月	4	11	47	0	3	65	45.1%
1月	4	9	44	0	3	60	41.6%
2月	4	20	45	0	4	73	50.7%
3月	3	14	49	0	4	70	43.2%
計	0	149	577	38	43	822	44.5%

※区分変更中の方もいる為、合計数に不一致あり

7-4. 居宅介護支援事業所

昨年度に引き続き、特定事業所加算Ⅲを算定。千葉県介護支援専門員実務研修実習生1名受け入れ。コロナの感染が増加したことで、認定調査は、施設内や担当者がある施設とした。研修は、できる限りコロナの影響のない形での参加とした。地域とのかかわりを深めるために、圏域内の多職種連携会議（ZOOMによる参加）イベントに参加した。

実績

月	職員数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
4月	3	3	9	49	16	9	8	5	99
5月	3	3	10	43	20	11	8	4	99
6月	3	5	7	44	21	11	8	5	101
7月	3	3	9	43	21	12	8	5	101
8月	3	3	10	42	22	13	5	5	100
9月	3	2	10	42	22	14	4	4	98
10月	3	2	10	42	23	14	4	4	99
11月	3	2	10	43	24	14	4	2	99
12月	3	0	11	43	24	14	4	2	98
1月	3	0	11	43	26	14	4	2	100
2月	3	0	11	44	25	13	4	2	99
3月	3	0	10	41	25	13	7	2	98
計	-	23	118	519	269	152	68	42	1,191

登録者状況（3月末時点）

登録者数

性別	予防給付	介護給付	計
男性	5	31	36
女性	6	63	69
計	11	94	105

登録者世帯状況

世帯	人数
独居	28
夫婦	28
子ども世帯同居	35
他親族同居	6
その他※	8
計	105

※ロングショート利用中、サービス付高齢者住宅

認定調査受託

受託件数	保険者
5件	市原市1件 若葉区1件 千葉市1件 岩手県関市1件 茨城県結城市1件

研修等参加

月	日程・内容・参加人数
5月	25日 浜野圏域ケアマネ研修会 3名
8月	25日 26日 ケアマネ更新研修 (小川) 26日 浜野圏域多職種連携会議 ※ZOOM (林 橋本)
9月	2日 22日 30日 ケアマネ更新研修 (小川)
10月	8日 ケアマネ更新研修 (小川) 14日 浜野圏域事例検討会 3名 29日 淑徳大学講演会出席 (林 橋本)
11月	29日 高齢者虐待防止研修 (あんしんケアセンター浜野圏域) 3名 18日 苑内研修「認知症ケア」 (林 小川)
12月	27日 介護支援専門員実務研修指導者研修 ※ZOOM (林)
1月	11日 浜野圏域事例検討会 3名 7日、21日 淑徳大学社会福祉士指導者講習会 (橋本)
2月	2日 あんしんケアセンター浜野意向調査 ※ZOOM 3名
3月	4日 浜野圏域SDGsイベントにボランティアとして参加 (林 小川) 生浜東小学校にて

7-5. 淑徳おゆみ診療所

実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ患者数	904	730	828	796	916	836	1,114	1,026	1048	842	768	834	10,642
うち入居者関連	328	268	247	244	292	291	335	312	298	314	307	315	3,551
うち予防接種等	85	10	107	66	159	52	291	200	226	53	10	4	1,263

7-6. 千葉市あんしんケアセンター松ケ丘

あんしんケアセンター松ケ丘では、下記のように年間の活動方針・重点活動項目を定め、それに沿って活動した。

途中、職員が感染する事態となったが、各自が感染対策を行い、PCR 検査や抗原検査を定期的に実施して、相談窓口としての機能継続に努めた。

1. 令和4年度活動方針（総合）

- 高齢化率が高い地域、総合相談が多い地域など、集中的に支援が必要な地域を抽出し、地域ケア会議を開催する等支援体制の構築を図る。
- 積極的に地域に出向き、継続してあんしんケアセンターの周知を行っていく。
- 長引くコロナ禍の生活でフレイルの進行が心配される高齢者に、生活支援コーディネーターとも連携し、介護予防やセルフケアについての周知を行う。

2. 令和4年度重点活動項目

(ア) 松ケ丘（対象地域：仁戸名町市営団地）

- 団地住民、地域の実情に合わせた集まりの場・機会の提供
- 地域課題検討に向けた地域ケア会議の開催
- 116 地区民生委員・児童委員協議会定例会への参加

(イ) 白旗出張所（対象地域：大巖寺町・蘇我3丁目）

- 地域課題検討に向けた小規模な地域ケア会議の実施
- 地域課題に即した介護予防活動や認知症サポーター養成講座等の実施

3. 年度総括

(ア) 活動方針

- 定期的に地域ケア会議を行う地域が増えた。
- コロナ禍ではあるが、生活支援コーディネーターと連携し、新規にシニアリーダー体操やいきいき体操などの立ち上げや継続支援を行った。
- 出張相談や広報誌の発行、地域のスーパーなどで広報誌の配架など、積極的にあんしんケアセンターの周知を行った。

(イ) 第1号介護予防支援事業

- 感染状況に応じた訪問、アセスメント、サービス担当者会議、モニタリング等を実施した。
- 感染予防の観点から「訪問を控えてほしい」という利用者からの声も多い中、適切なマネジメントが行えるよう工夫した。
- 利用者本人が自らの課題に気づき、対応できるよう支援に努めた。

(ウ) 総合相談支援

- 周知活動として、近隣スーパーで広報誌の配布活動や介護に関するリーフレットの設置を行った。

- 蘇我コミュニティセンターで出張相談会を4回開催した。
 - 毎朝のミーティング、月1回の総合相談ミーティングを実施し、情報の共有や支援の方向性について話し合った。
 - 困難ケースに関しては個別課題解決のための地域ケア会議を開催した。
 - 支援者とのネットワーク構築のための地域ケア会議を開催した。
- (エ) **権利擁護**
- 成年後見制度の利用ができるよう、関係機関と連携し支援を行った。
 - 圏域内の事業所向けに虐待対応研修を開催し、知識の習得、迷わず通報できる関係性の構築を行った。
 - 詐欺防止や交通安全など、千葉中央警察署などの各関係機関と連携し、講座開催やチラシの配布を行い、注意喚起を行った。
- (オ) **包括的・継続的ケアマネジメント**
- 松ヶ丘圏域多職種連携会議をオンラインにて開催した。
 - 松ヶ丘圏域主任介護支援専門員が開催した事例検討会の後方支援を行った。
 - 介護支援専門員からの個別の相談対応を継続して行った。個別ケース相談では地域ケア会議の個別ケース会議を開催した。
- (カ) **一般介護予防業務**
- 地域リハビリテーション広域支援センター、民生委員、中央いきいきプラザなどと連携し、様々な地域で測定会を実施した。
 - シニアリーダー体操の体験会を開催し、継続開催につなげることができた。
 - 行政と連携し、認知症講座を開催した。
 - 保健師・看護師による広報誌を作成し、地域へ配布、回覧し、地域住民のセルフケア向上に努めた。
- (キ) **重点活動項目（松ヶ丘）**
- 地域ケア会議を3回開催した。会議において、団地全体及び個別ケースの問題を抽出でき、継続的に各関係機関と情報共有することができた。
 - 地域ケア会議での話し合いの結果、団地住民を対象とした集まりの場を開催することができ、シニアリーダー体操については定期開催につながった。
 - 116 地区民生委員・児童委員協議会定例会に参加し、あんしんケアセンター松ヶ丘の周知を図ることができた。
- (ク) **重点活動項目（白旗出張所）**
- 大巖寺町は2回、蘇我3丁目は3回地域ケア介護を開催し、現状把握に努めた。
 - 大巖寺町は、大巖寺の本堂をお借りしシニアリーダー体操の体験会を実施し、定期開催につなげることができた。
 - 蘇我3丁目は地域リハビリテーション活動支援事業を利用し、公園にて測定会を実施し、来年度は多くの住民が参加できるよう、場所を変えながら行っていくこととなった。

7-7. 千葉市生活支援コーディネーター

コロナ禍も3年を経過し、高齢化を理由に解散する老人クラブもあったが、政府の感染症法第5類への移行に合わせ、その活動を再開させようとの地域の動きも出ている。また、今年度はあんしんケアセンター専門職と協力しながら地域における体力測定会や介護予防体操のデモンストレーションを開催し、定期開催につなげることができた。

主な活動

1. 地域のニーズに応じた重点的業務

(1) 生活支援・介護予防サービスの提供状況の把握

圏域内のスーパー等の協力を得ながら、宅配や移動販売の情報をまとめた「買い物支援サービスガイド」を新たに作成する。また、3年前に作成した「シニアリーダー体操教室マップ」は、内容に変更が生じる度に更新作業を実施している。それら情報は、地域住民に提供し、活用してもらっている。

(2) 生活支援・介護予防サービスの創出

あんしんケアセンター内で協力し、千葉市で推進している介護予防体操のひとつであるシニアリーダー体操（仁戸名町団地）とちばしいいきき体操（南部青少年センター）を新規でスタートさせることができた。

(3) 支援ニーズの把握

あんしんケアセンターの総合相談を始めとし、民生委員や社会福祉協議会地区部会など地域からの相談が増えつつある。地域団体からの相談に対しては、その活動を支援し、個別の相談に対しては、それぞれの身体状況や環境に合わせ、生活支援コーディネーターが持っている情報を提供し、自らが選択できるように対応している。

(4) 担い手の養成

認知症への理解を拓げる普及啓発活動において、地域の認知症サポーターステップアップ講座修了者に「認知症サポーター養成講座」や「認知症との共生を目指すカードゲーム」への協力を働きかけ、連携を図りながら実施した。

2. 多様な関係機関・団体とのネットワークの構築および協議体の設置

千葉中央警察署の「いきいきキャンペーン 2022」や中央いきいきプラザのボランティア講座修了者への活動支援など各種事業で関係機関との連携を深めることができた。また、あんしんケアセンターが重点項目に定めた地域（仁戸名町団地、蘇我三丁目、

大巖寺町)の協議体に参加し、ネットワークの構築、地域課題の検討、地域資源の創出につなげた。

3. 生活支援コーディネーターによるチーム活動

昨年同様、生活支援サービス整備チームに所属し、地域とのつながりを重視した「見守り活用促進ツール」を作成した。他にも、地域団体へ民間団体等による出張講座の情報提供を行う。

4. 認知症地域支援推進員の活動（千葉市みかんの会・チームオレンジ班 s h）

昨年同様、千葉市みかんの会ではチームオレンジ班に所属し、わずかながらではあるが、地域による認知症支援の取り組みを推進することができた。認知症当事者による本人ミーティングを複数の認知症カフェと連携しながら開催した。他にも当事者の意見を交えた外出イベント「千葉港をめぐる観光船と一緒に乗りませんか」「加曽利貝塚へご一緒しませんか」を企画し、実施した。